

HUAWEI Mate20 Pro

CO-ENGINEERED WITH



クイックスタートガイド



はじめに

HUAWEI Mate 20 Proをご購入いただきありがとうございます。ご使用前やご利用中に、必ず本書をお読みいただき、正しくお使い下さい。

本書の記載について

- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「HUAWEI Mate 20 Pro」を「本機」と表記しています。
- 本書の本文中においては、「ナノメモリカード」を「NM カード」と表記しています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※ ² を負う可能性が想定される場合および物的損害※ ³ の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1. 本機、SIM カード、USB ケーブル、イヤホン マイク、充電用機器の取り扱いについて（共通）

危険

 禁止	高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器にいたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水・防塵性能については以下をご参考ください。 ⇒ P.33「防水・防塵性能」

 禁止	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参考ください。 ⇒ P.33「防水・防塵性能」
 禁止	本機に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。 内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。 ※ ご注意いただきたい例。 - ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする - 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む - ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 分解禁止	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止	本機の内蔵電池を取り外そうとしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 水濡れ禁止	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参考ください。 ⇒ P.33「防水・防塵性能」
 水濡れ禁止	充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参考ください。 ⇒ P.33「防水・防塵性能」
 指示	オプション品は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。 指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

 禁止	落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	ワイヤレスチャージャーや本機に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 禁止	ワイヤレスチャージャーと本機の間、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。

 指示	ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本機に装着しているカバーなどは取り外してください。 カバーの材質や厚み、本機とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。
 指示	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。 電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 ※ ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
 指示	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 指示	ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。 引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
 指示	使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。 • 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。 • 本機の電源を切る。 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意

 禁止	破損したまま使用しないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。 落下して、けがなどの原因となります。

 禁止	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。 防水・防塵性能については以下をご参考ください。 ⇒ P.33「防水・防塵性能」
 禁止	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。 けがなどの原因となります。
 禁止	乳幼児の手の届く場所に置かないでください。 誤飲、けが、感電などの原因となります。
 指示	本機を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。 アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本機や内蔵電池・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2. 本機の取り扱いについて

危険

 禁止	火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 禁止	鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。
 指示	本機内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。 本機内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

 禁止	赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。 目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。
---	---

 禁止	ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。 視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
 禁止	自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。 運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
 禁止	点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。 けいれんや意識喪失などの原因となります。
 禁止	本機内の SIM カードや NM カードの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIM カードや NM カードの挿入場所や向きを間違えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 禁止	カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。 レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 禁止	スピーカーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。 難聴など耳への障害の原因となります。
 指示	航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。 電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
 指示	病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。 使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。 電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

 指示	ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。 ハンズフリーに設定して通話すると、本機から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。
 指示	心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。 突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本機をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

 禁止	ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
 禁止	一般のゴミと一緒に捨てないでください。 火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、ソフトバンクショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
 禁止	内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
 禁止	SIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM ピンの先端にご注意ください。 SIM ピンの先端に触れると、けがなどの原因となります。

 指示	自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。 車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
 指示	本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。 お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。 各箇所の材質について⇒ P.44「使用材料」
 指示	本機のスピーカ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。 付着物により、けがなどの原因となります。
 指示	ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。 暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

極端な高温または低温になる場合、本機や付属品が損傷することがありますので、ご注意ください。

最適な動作温度は 0 °C から 35 °C で、最適な保管温度は -20 °C から +45 °C です。

3. 内蔵電池の取り扱いについて

電池の種類を確認した上で、ご使用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

4. AC アダプタ、USB ケーブルの取り扱いについて



警告



禁止

アダプタや USB 接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタや USB 接続ケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。

 禁止	コンセントやアクセサリースocketにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	アダプタや USB 接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、ネックレスやブレスレットなどの金属類を接触させないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 禁止	AC アダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。 発火、発熱、感電などの原因となります。
 禁止	本機にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手でアダプタのコードや USB 接続ケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。 火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な AC アダプタで充電してください。 誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。 AC アダプタ：AC 100 V（家庭用交流コンセントのみに接続すること） 海外で使用可能な AC アダプタ： AC 100 V ～ 240 V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
 指示	電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。 ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

 指示	電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコード（USB ケーブル）を引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。 アダプタのコード（USB ケーブル）を引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
 指示	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	本機にアダプタを抜き差しする場合は、コード（USB ケーブル）を引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。 正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 指示	充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。 充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちにコンセントやアクセサリースOCKETから電源プラグを抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

5. SIM カードの取り扱いについて

注意



指示

SIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

 指示	身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。 付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. レーザーの安全性について

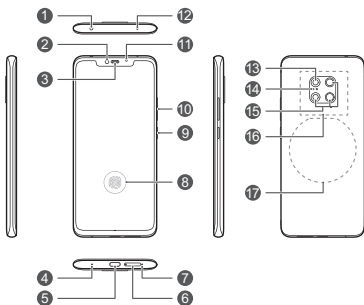


この製品は IEC60825-1:2014 規格に基づいた「クラス 1 レーザ製品（CLASS 1 LASER PRODUCT）」です。この製品は波長 940nm の赤外線レーザーを使用しております。ご使用の際は、本書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもクラス 1 の被ばく放出限界を超えるレーザー放射は行われません。

各部の名称

各部の名称について説明します。

- 本機の電源を ON するには、画面が点灯するまで電源ボタンを長押しします。
- 本機の電源を OFF するには、電源ボタンを長押しし、 をタップします。
- 本機を再起動するには、電源ボタンを長押しし、 をタップします。
- 本機を強制的に再起動するには、電源ボタンを 10 秒以上長押しします。



①	赤外線発光部	②	フロントカメラ
③	受話口 / スピーカー	④	メインマイク 1
⑤	スピーカー / USB-C ポート *	⑥	カードスロット
⑦	メインマイク 2	⑧	画面内での指紋センサー

⑨	電源ボタン	⑩	音量ボタン
⑪	照度センサー	⑫	サブマイク
⑬	フラッシュ / 色温度センサー	⑭	レーザーセンサー
⑮	アウトカメラ	⑯	NFC センサー領域
⑰	ワイヤレス給電のセンサー領域		

(* : ヘッドフォンは同梱の USB-C イヤホンをご利用いただくか、お手持ちのヘッドフォンを同梱の USB-C to 3.5mm ヘッドフォンジャックアダプタを用いてご利用いただけます。)

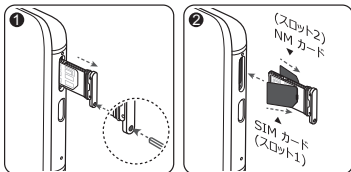
- **①** NFC 機能を使用する際は、上図に記載の NFC アンテナ部分を他の対応機器に近づけてください。
- **ヒント** から機能の詳細と使用方法に関するヒントを確認できます。
- 電池は本機に内蔵されています。

SIM カード及び NM カードの装着方法

- 本機の電源がオンのときに SIM カードを挿入したり、取り外したりしないでください。
 - カードの向きが正しいことを確認して、カードの切り欠き部分をカードトレイの溝に合わせて挿入してください。
- SIM ピンを使用するときは、怪我をしたり、本機を傷付けないように注意してください。
- お子様が誤って飲み込んだり、怪我をしたりしないよう、SIM ピンはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ⚠ カットまたは改造した SIM カードや NM カード（ナノメモリカード）を使用しないでください。こうしたカードを使用すると、カードが正しく認識されない場合やカードトレイ（スロット）が損傷するおそれがあります。

以下の図の説明に従って本機をセットアップしてください。付属の SIM ピンを使用してください。

- ⚠ ● NM カード（ナノメモリカード）はスロット 2 に挿入してください。
- NM カードは、ソフトバンクショップ、Amazon、ファーストエースストア、量販店で購入できます。

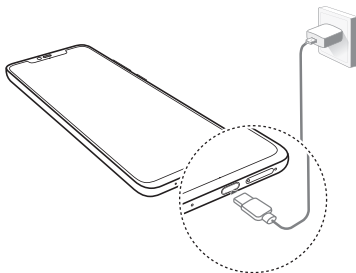


充電と給電について

充電時のご注意

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末や AC アダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池切れの状態では充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。



充電中のディスプレイ表示について

電源を切っている間でも、電源ボタンを押すとディスプレイが点灯してアニメーションが表示され、充電の状況が表示されます。

内蔵電池について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（→ P.47）までご連絡ください。
- 本端末の内蔵電池の種類は次の通りです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池



Li-ion 00

ワイヤレス充電について

本端末はワイヤレス充電対応で、充電器と組み合わせて使用します。本端末はワイヤレス給電の Qi 規格に準拠しています。ワイヤレス充電を使用する場合、以下の手順に従って使用してください。

1. 端末付属の充電プラグとケーブル、購入したワイヤレス充電クレードルを準備します。充電プラグとケーブルを充電クレードルに接続し、充電プラグを電源につなぎます。
2. クレードルを平らな面、またはメーカー推奨の場所に置きます。
3. 端末の画面を上に向けてクレードルの上に置きます。最適なパフォーマンスを実現するため、端末をクレードルの中央部分か、メーカー推奨の場所に置いてください。
4. ワイヤレス充電器に端末を置いて数秒経つと、音が鳴り、充電が始まります。充電が始まるとステータスバーに  または  のアイコンが表示されます。

ワイヤレス充電を使用する場合、以下の点に注意してください。

- ワイヤレス充電器は、充電プラグ、充電ケーブル、充電クレードルで構成されます。充電クレードルは端末には付属していません。
- 使用できる充電モードは、ご使用の端末付属の充電器によって異なります。ご使用の端末が急速充電に対応している場合、ワイヤレス急速充電モードを使用できます。それ以外の場合、使用できるのは通常ワイヤレス充電のみとなります。
- ワイヤレス充電器は、量販店、ファーストエーストア、Amazon で購入できます。

ワイヤレス給電について

本端末はワイヤレス給電対応で、Qi 規格に準拠したワイヤレス充電対応のデバイスに給電することができます。ワイヤレス給電を使用する場合、以下の手順に従って使用してください。

1. **設定** アイコンをタップして、**電池 > ワイヤレス給電** をタップし、**ワイヤレス給電** を有効にします。
2. 本端末と充電対象のデバイスを背中合わせにして、両方のセンサーの位置を合わせると、ワイヤレス給電が開始します。

ワイヤレス給電を使用する場合、以下の点に注意してください。

- ワイヤレス給電を使用する前に、デバイスがワイヤレス充電対応であることを確認してください。
- より効果的に給電するために、両方のセンサーの位置をできるだけ合わせてください。
- ワイヤレス給電を ON にした後、2 分以内に充電対象のデバイスを置かないとワイヤレス給電が OFF になります。ご注意ください。

詳細情報

設定 にアクセスして、**システム** > **端末情報** > **法律情報** をタップすることで、ご利用の製品に関する法的情報を確認できます。

設定 にアクセスして、**システム** > **端末情報** > **法律情報** > **安全に関する情報** をタップすることで、ご利用の製品に関する安全上の注意を確認できます。

設定 にアクセスして、**システム** > **端末情報** > **認証情報** をタップすることで、ご利用の製品に関する規制情報を確認できます。

設定 にアクセスして、**システム** > **認証マーク** をタップすることで、ご利用の製品に関する技適マークの詳細を確認できます。

-  本機の色、サイズ、表示内容をはじめ、本書のすべての写真とイラストは参考のためにのみ提供されています。そのため、実際の製品とは異なる場合があります。本書の内容については、明示および黙示を問わずいかなる保証もいたしません。

技術基準適合情報

電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークを表示します。

技適マークは**設定** > **システム** > **認証マーク**で確認できます。

取扱いのご注意

防水・防塵性能

本機は管理された条件下で試験を実施し、特定の状況下における防滴、防水、防塵の認定を受けています（国際規格 IEC 60529 に基づく等級 IP68 の要件を満たしています）。防滴・防水・防塵性能は、永続的に維持されるものではなく、通常の使用により耐性が低下する可能性があります。端末は濡れた状態で充電しないでください。

緊急通報

- 緊急通報の利用可否はお客様の電波受信状態、通信事業者のポリシー、現地の法律や規制により異なります。急病などの重大な事態に備えて、本機のみ依存しないでください。
- 日本国内では、音声通話（IP 電話を除く）対応の SIM カードを取り付けていない場合や、SIM カードの PIN コードの入力画面、PIN コードロック・PUK ロック中には、緊急通報 110 番、119 番、118 番に発信できません。

処分およびリサイクルに関する情報



本機、内蔵電池、パッケージ上に描かれた車輪付きゴミ箱にバツ印がついた記号は、製品を一般の家庭ごみとともに廃棄してはならないことを示すものであり、適切に分別して廃棄する必要があります。電気・電子機器廃棄物（WEEE）および電池は、リサイクルや分別回収処理を行うため、指定

された収集場所にユーザー自身の責任で廃棄してください。

本機を適切に収集およびリサイクルすることにより、電気・電子機器廃棄物は価値の高い物質を残したままリサイクルされ、人体と環境を保護します。利用終了時に不適切に処理したり、誤って破壊や損傷してしまったり、正しくリサイクルできない場合には、人体や環境に害を及ぼすおそれがあります。電気・電子機器廃棄物の廃棄方法や廃棄場所に関する詳細は、現地の管理局、販売店、または家庭用のごみ処理業者に問い合わせるか、

<https://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm> をご参照ください。

有害物質の削減

本機および電子付属品は、電子機器での特定の危険物質の使用の制限に関する規則（EU REACH、RoHS and 電池規則（電池が含まれる場合））を遵守しています。REACH および RoHS への適合に関する宣言は、当社の Web サイト (<https://consumer.huawei.com/certification>) をご確認ください。

背面カバーについて

本機の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとしないでください。破損や故障の原因となります。また、防水・防塵性能を損なう原因にもなります。

本機の比吸収率（SAR）について

この機種「HUAWEI Mate 20 Pro」の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{※1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、2 W/kg の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【HUAWEI Mate 20 Pro】の頭部における SAR の最大値は 0.752 W/kg^{※2} であり、また下記の方法^{※3}により身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.476 W/kg^{※2} です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）に規定されています。

※2 <携帯電話サービス> と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 頭部以外の位置におけるご使用方法

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
- 世界保健機関（英文のみ）
<http://www.who.int/emf>
- SoftBank スマートフォン 各機種 of 電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら
<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【HUAWEI Mate 20 Pro】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2 W/kg で、本携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.40 W/kg、アクセサリ等により人体より 0.5 センチ以上離して、その間に金属（部分）が含まれないようにして使用する場合の SAR の最大値は 0.96 W/kg です。

適合宣言書（簡易版）※4

本携帯電話機【HUAWEI Mate 20 Pro】は、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。詳しくは下記メーカーホームページをご参照ください：

<http://consumer.huawei.com/en/legal/certification/>

※4 本適合宣言書は英語が正文です。日本語は参考のために記載しています。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。

測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.58 W/Kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.81 W/Kg です。

身体装着の場合：この携帯電話機【HUAWEI Mate 20 Pro】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCC の定める SAR 許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone [HUAWEI Mate 20 Pro] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.752 W/kg*** when tested for use at the ear, and 0.476 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.” They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body. For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>(Japanese)
- World Health Organization
<http://www.who.int/emf>
- List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model
<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>
(Japanese)

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.40 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 0.96 W/kg* at the separation distance of 0.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Simplified Declaration of Conformity for [HUAWEI Mate 20 Pro]

Hereby, [HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.] declares that the radio equipment type [HUAWEI Mate 20 Pro] is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://consumer.huawei.com/en/legal/certification/>

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific

studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.58 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.81 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/>) after searching on FCC ID QISLYA-LX9.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

法律上の注意事項

商標と許可



HUAWEITM HUAWEI



は Huawei Technologies Co., Ltd. の登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、ドルビーアトモス及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

AndroidTM は Google LLC の商標です。

LTE は ETSI の商標です。

Bluetooth[®] およびそのロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltd. によるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Wi-Fi[®]、Wi-Fi CERTIFIED ロゴと Wi-Fi ロゴは Wi-Fi Alliance の商標です。



N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。

「Qi」のロゴは、Wireless Power Consortium の商標です。

SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

ACCESS、ACCESS ロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。

Internet SagiWall の名称およびロゴは、BB ソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

McAfee と McAfee のロゴは、米国およびその他の国における McAfee LLC の商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国 Oath Inc. の登録商標または商標です。

ハローページは NTT の登録商標です。

© mysta. All Rights Reserved.

kurashiru は、dely 株式会社の登録商標または商標です。

個人情報保護方針

当社の個人情報保護方針については、
<https://consumer.huawei.com/jp/privacy-policy/index.htm> をご参照ください。

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

本書は参考用のため、いかなる保証も行いません。

使用材料

本体	
使用箇所	材質 / 表面処理
ディスプレイ	ガラス / AF コート
外装ケース (側面部)	アルミニウム合金 / アルマイト
外装ケース (リア部)	ガラス / コーティング
フラッシュ	ガラス / AF コート + AR 処理
電源ボタン / 音量 ボタン	アルミニウム合金 / アルマイト
USB 挿入部 / アン テナスリット部	PLA+PBT + GF (20%)
レシーバーメッ シュ	SUS/PVD
カメラパネル	ガラス / AF コート + AR 処理
カメラレンズ飾り	Fe-N-MIM/PVD
赤外線レンズ	PC
カードスロット	PA+ アルミニウム合 金 / アルマイト
カード固定バネ	POM
カード固定バネ接 続部	ステンレス / PVD
カードスロット パッキン	シリコン / LIM

40W HUAWEI SuperCharge（試供品）

使用箇所	材質 / 表面処理
AC アダプタ本体	PC
電源プラグ（金属部）	Cu/Ni メッキ
USB ケーブル	TPE
USB プラグ／ USB Type-C プラグ（金属部）	Cu/Ni メッキ + Au メッキ
USB プラグ／ USB Type-C プラグ（樹脂部）	LCP

クリアケース（試供品）

使用箇所	材質 / 表面処理
本体	TPU

ハイレゾイヤホン（試供品）

使用箇所	材質 / 表面処理
イヤホン部（筐体）、プラグ（樹脂部）、リモコン	PC + ABS
プラグ（金属部）	SUS/ サンドブラスト

メッシュ	SUS
ケーブル	TPE

ヘッドフォンジャックアダプタ（試供品）

使用箇所	材質 / 表面処理
本体	TPE

SIM ピン（試供品）

使用箇所	材質 / 表面処理
本体	SUS/ サンドブラスト

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

■総合案内（受付時間：午前9時から午後8時まで）

料金から各種サービスまで、ソフトバンクに関する総合案内窓口です。

ソフトバンク携帯電話から 157（通話料無料）

一般電話から ☎0800-919-0157（通話料無料）

■紛失・故障受付（受付時間：午前9時から午後8時まで）

紛失、故障時は下記の番号へおかけください。

ソフトバンク携帯電話から 113（通話料無料）

一般電話から ☎0800-919-0113（通話料無料）

■スマートフォンテクニカルサポートセンター

（受付時間：平日 午前9時から午後7時まで／土日祝 午前9時から午後5時まで）

スマートフォンの操作・サービス内容に関する案内窓口です。

ソフトバンク携帯電話から 151（通話料無料）

一般電話から ☎0800-1700-151（通話料無料）

■ソフトバンク国際コールセンター（受付時間：24時間）

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。

+ 81-92-687-0025（通話料有料、ソフトバンク携帯電話からは通話料無料）

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
<https://www.softbank.jp/mobile/support/product/warranty/>
- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。
- 本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃

2018年11月 第1版発行

販売元：ソフトバンク株式会社

機種名：HUAWEI Mate 20 Pro

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

【重要】

本端末で最後にログインした「Googleアカウント」を忘れないようにしてください。

本端末には、他人に無断で使用されないように端末を保護することを目的として、Googleアカウントによる「端末保護機能」が搭載されております。

工場出荷設定への復元やNMカードを使用した更新などを行う際に、本端末で最後にログインしたGoogleアカウントの入力が必要になる場合があります。Googleアカウントを忘れた場合、有償修理（保証期間内含む）が必要となりますのでご注意ください。



31500AHV_01

